

緊急自動車等におけるETC活用等に係る実態調査
 - 自衛隊車両及び救急車の迅速かつ円滑な通行に向けて -

調査結果及びまとめ (ポイント)

行政評価局では、行政運営上の課題を日々情報収集しており、今回、自衛隊車両及び救急車のETC活用等に係る情報に接し、有料道路において料金を徴収されずに通行（以下「無料通行」という。）できる自衛隊車両（災害派遣等に際しての通行）及び救急車（救急業務に際しての通行）（参考情報1参照）について調査した結果、以下のとおりであった。

○自衛隊車両の有料道路の通行実態（調査結果の詳細は別紙1参照）

- ・ 一般レーンで証明書を料金所係員に手渡しする。その際、1台ずつ確認を受けるため、通行に時間を要する場合がある。



防衛省は、災害派遣等に際しての自衛隊車両のより円滑な通行のため、道路会社の協力を得つつ、無料通行できる専用のETCカードの活用や現行の証明書による通行方法の簡素化・簡略化といった料金所通過に係る通行方法の見直しについて検討することが必要と考える。

○救急車の有料道路の通行実態（調査結果の詳細は別紙2参照）

- ・ 32消防本部における救急搬送時の通行実態

区分	ETCレーンを無料通行	一般レーンを無料通行	有料道路を利用しない
緊急搬送時	14 消防本部	18 消防本部	3 消防本部

(注) 道路会社ごとに通行方法が異なる場合は複数計上しており、合計数と一致しない。

- ・ 32消防本部における救急搬送先からの帰署時の通行実態

区分	有料道路を無料通行	有料道路を有料で通行	有料道路を利用しない
帰署時	25 消防本部	5 消防本部	3 消防本部

(注) 道路会社ごとに通行方法が異なる場合は複数計上しており、合計数と一致しない。



各消防本部は、本調査結果を参考にするとともに、地理的要因、救急搬送における有料道路の使用状況、ETC車載器の装備状況、料金所の自動化・無人化の進展等を踏まえ、無料通行できる専用のETCカードの活用や、救急搬送先からの帰署時における有料道路の無料通行について検討が必要と考える。